



校種：高等学校

教科：工業科

科目：実習

単元：「溶接」

6時間×6週

月 日 曜日 日直

視点1 「持続可能な社会の創り手」との関連

単に生産性や効率のみを高めることにとどまらず、製品などが社会に及ぼす影響に責任をもち、ものづくりを通じて、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を養う。

【高等学校学習指導要領解説工業編 P14】



視点1 「持続可能な社会の創り手」との関連

単に生産性や効率のみを高めることにとどまらず、製品などが社会に及ぼす影響に責任をもち、ものづくりを通じて、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を養う。

【高等学校学習指導要領解説工業編 P14】

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



視点2

**「個別最適な学び」と「協働的な学び」を
一体的に捉えた学習活動****指導の
個別化**

実践的・体験的学習活動の中で行うものづくりに関しては、実技動画による解説・実演・図解等を生徒の実情を踏まえてバランスよく活用し、指導を行う。

**学習の
個性化**

生徒個々の興味・関心、進路希望等に応じた実習内容の重点化やペア活動での役割分担を工夫し生徒が自分に合ったペースで学べる環境をつくる。

**協働的
な学び**

ペアでの課題作品製作をとおして相手の考えや取り組みを自分と比較することができる。
また、実習記録をクラス全体に共有することで他のペアの考えや振り返りの共有を行う。

視点3 本單元におけるICTの活用

実習記録簿（デジタルノート）による
学びの共有

実技動画の活用による技術力向上



視点4

本單元における授業デザインの構想

授業デザインを構想するにあたってのポイント

- ① **実践的・体験的**な学習活動
- ② 実習内容の重点化、協働的な学習活動、ICTの活用
→ **個別最適な学び**や**協働的な学びの実現**を図る
- ③ **座学との関連**を図り、学習の効果を高める
- ④ 安全衛生、技術者としての倫理、環境等への配慮などについても指導
→ **技術者としての使命や責任の自覚**を総合的に理解できるように工夫して指導する

視点4

本單元における授業デザインの構想

科目：実習

單元名：「溶接」

6時間×6週 全36時間 2/6週目



導入

1 前時の復習

(1) 前時までの学習状況を**実習記録簿**で確認する。

- ・ 課題の製作状況
- ・ 安全衛生等

(2) 単元計画を確認する。

(3) 本時の目標と評価規準を確認する。



展開①

2 アーク溶接の基本練習

金属の性質（可融性）やアーク溶接機の安全な使用法等について実習作業の中で学習する。溶接法の習得に関しては、実演や **ICT教材** を活用する。

- (1) 平板の溶接（突合せ溶接、すみ肉溶接）
- (2) パイプ溶接



展開②

3 アーク溶接の応用練習

～ペアによる課題作品製作（ベンチ）～

金属の性質（被削性・展延性）や各種工作機械の安全な取り扱いについて、実習作業の中で学習する。

（1）材料の切断

（2）パイプの曲げ加工

（3）片付け

指導の
個別化



学習の
個性化



協働的
な学び



ICTの
活用



まとめ

- 4 ペアでのまとめをし、振り返る。
- (1) ペアで今日の実習作業を**実習記録簿**にまとめる。
 - (2) 本時の学習をクラスで共有する。
 - (3) 次回の確認

